

学校規模適正化についてのアンケート結果報告（全体）

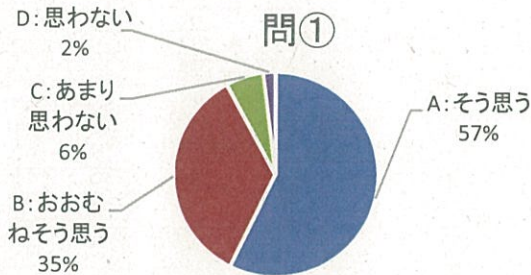
市内では、少子化の影響により、小学校の規模が年々小さくなる中、平成21年8月に小学校を対象とした「宍粟市学校規模適正化計画」を策定しました。複式学級を解消し、一定の集団規模による多様な教育環境の機会作りをめざして取組を進めてきました。

今回、新しく開校した5小学校区において現況調査アンケートを行い、適正化の効果や課題、現在の児童の様子を把握し、学校運営の改善の参考とするため、アンケート調査を実施しました。調査期間は、平成30年10月25日～11月9日までの2週間で、適正化により新しく開校した小学校の児童、保護者、教職員、校区の自治会長、民生児童委員、老人クラブ会長の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。その結果をまとめましたのでご報告させていただきます。

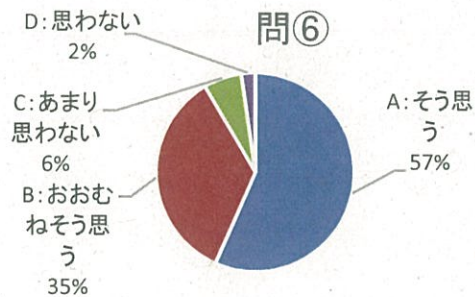
*項目が多数のため、抜粋しています。

■児童アンケート

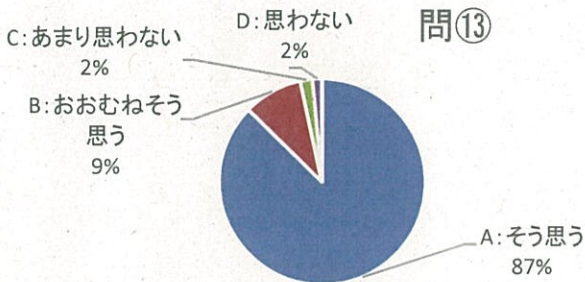
設問① 学校に行くのが楽しみですか。



設問⑥ 授業中の勉強はよくわかりますか。



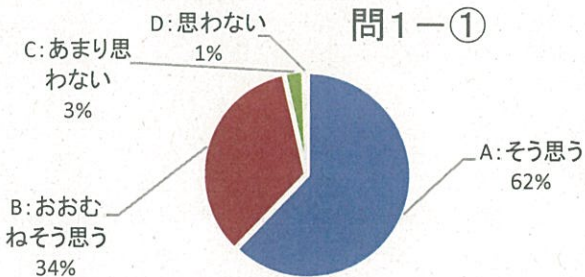
設問⑬ 一緒に楽しく遊ぶことができる友達がいますか。



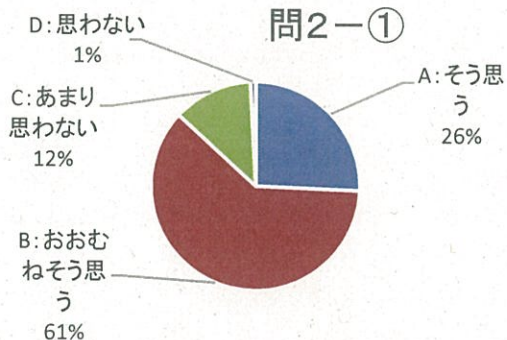
児童アンケートの回答率は98.0%です。アンケートの設問は15項目あり、学習面に関する設問では「A: そう思う」・「B: おおむねそう思う」と回答した割合は、平均で81%となっており、学習面で意欲的に取り組んでいることがうかがわれます。また、他の設問においても、規則正しい生活や児童の交流が進んでいることがうかがわれる回答割合となっています。

■保護者アンケート

設問1-① 楽しんで学校に行っていますか。



設問2-① 学校は児童一人ひとりに応じた学びと生活のきめ細かな指導に努めていると思えますか。

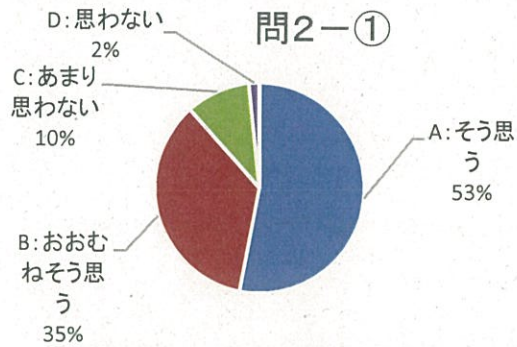


保護者アンケートの回答率は88.5%です。

アンケートの設問は13項目あり、設問1-①では「A: そう思う」・「B: おおむねそう思う」を合わせた回答割合は、児童の同じ設問の回答割合とほぼ同じ割合となっています。

■地域アンケート

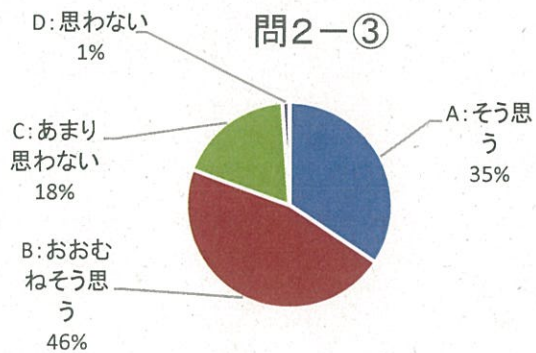
設問2-① 適正化して良かったと思われませんか。



地域アンケートの回答率は78.0%です。

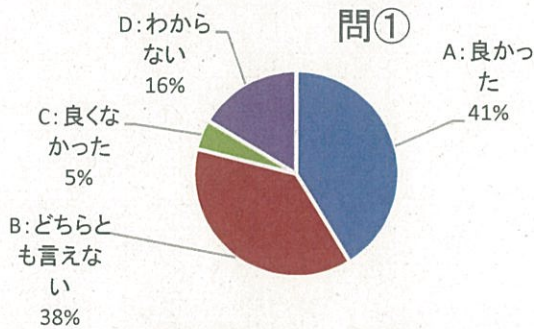
アンケートの設問は7項目あり、設問2-①では「A: そう思う」・「B: おおむねそう思う」を合わせた回答割合は88%となっています。

設問2-③ 教育環境や施設環境が良くなったと思われませんか。



■教職員アンケート

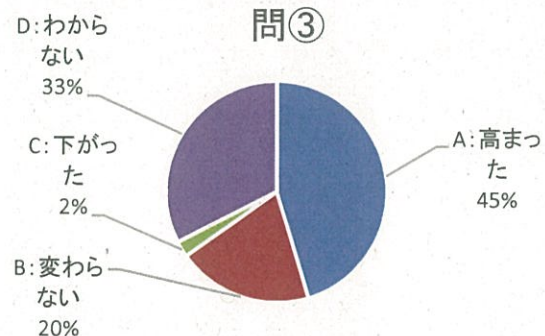
設問① 学校全体として捉えた場合、適正化してよかったですと思われませんか。



教職員アンケートの回答率は87.3%です。

アンケートの設問は7項目あり、設問③では「A: 高まった」の回答割合は45%となっています。

設問③ 児童が増えたことにより、学校全体の活気に変化はありますか。



■自由意見 (抜粋)

- ・地域交流も、どうしても学校付近が多くなるため、適正化の裏で、より過疎化していく問題を共に考えていく必要がある。
- ・毎日楽しく学校に通っていて、先生方に感謝している。
- ・前よりも地域との関わりの授業などが減ってきており残念である。
- ・合併したことにより、友達も増え、毎日楽しく通えている。
- ・人数も増えてよかったと思うが、そのまま同じ中学校にあがるので、緊張感や新鮮さが欠けるような気がする。
- ・学校は先生、PTA役員の方々を中心に教育、地域の拠点としてできあがっていると思うが、地域同士はもう少し時間がかかると思う。
- ・小規模な学校であり、きめ細かい指導を受けありがたく思っている。
- ・閉校により過疎に拍車がかかった。
- ・今後も適正化を進めてほしい。
- ・人数が増えた分、いじめ等、目のいきとどくことが薄れはしないかと心配している。
- ・元気な子ども達の声がほとんど聞けなくなったのが寂しく感じられる。
- ・10年後、20年後を考えると心配になる。
- ・下校時の防犯強化の必要を少し思う。
- ・スクールバス通学で体力の低下になるのでは。
- ・市内の他校との交流、地域との交流を増やしてほしい。